



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創 立 1969. 5. 30 会 長 井 上 裕 貴
幹 事 中 谷 徹 雄 会 報 委 員 長 大 原 文

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2221

2015-3-6

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
http://www.osaka-johnan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30

LIGHT UP ROTARY ロータリーに輝きを

2014-2015年度国際ロータリー会長 ゲイリー C.K. ホアン

本 日 の 例 会) 3月6日(第1例会)

- **表彰** ・ホームクラブ連続皆出席
光信(10) 岡倉(20) 三木(10)
南賀(10) 佐伯(10) 藤野(80)
原田(10) 大原(50) 武田(40)
各会員
- **お祝** ・誕生日
今井 三木 各会員
・結婚記念日
原田 岩永 光信 三宅 中谷(徹)
尾崎 各会員
・入会記念日
永井 中谷(徹) 岡部(泰) 岡本
各会員
・会社創立記念日
三宅 岡部(倫) 各会員
- **卓話** 「大阪みどりのトラスト協会
CSR活動と今後の課題」
公益財団法人 大阪みどりのトラスト協会
常務理事兼任事務長 平田通文氏
(中尾吉計社会奉仕委員長担当)
- **理事会** 11:30 ~ 12:10
シェラトン都ホテル大阪 3階 ホワイエ
- **クラブフォーラム(社会奉仕)**
13:40 ~ 15:30
シェラトン都ホテル大阪 3階 春日の間

次 週 の お 知 ら せ) 3月13日(第2例会)

- **卓話** 「地区委員報告」
パスト・ガバナー 岡部泰鑑会員
ガバナー補佐エレクト 境 高彦会員
米山奨学委員会 岡部倫正会員
- **次年度理事会** 11:30 ~ 12:10
シェラトン都ホテル大阪 3階 ホワイエ
- **食膳** 〈フランス 肉料理〉

次々週のお知らせ) 3月20日(第3例会)

- **卓話** 「祭祀の主宰者について」
遠田義昭会員

先 週 の 記 録) 2月27日(第4例会)

- **出席報告**
出席会員 37名 (内免除会員 8名)
会員総数 50名 (同上 15名)
ゲスト 1名
ビジター 0名
計 38名
ホームクラブ出席率 86.05%
2月13日(第2例会)補正出席率 93.48%(MU 2名)
- **ゲスト&ビジター(敬称略)**
川上善司(ガバナー補佐)

◆ 会 長 挨 拶 ◆

先週のIMは梅崎実行委員長はじめ皆様のご協力により無事終了ができました。ありがとうございます。参加者も150余名ありました。後の懇親会も大勢の参加者で、8組のロータリアン同士の親睦を果たせたと思います。5月5日のロータリーフェスティバルへの参加協力要請が地区よりきています。キッズダンスや危険ドラッグ撲滅サミットと愛のパレードへの参加とチャリティー募金です。多数の参加をお願いします。

◆ 幹 事 報 告 ◆

地区事務局より「春のライラ(初級)開催」のご案内ならびに参加者ご推薦のお願いが来ております。平瀬青少年奉仕委員長に回付いたします。



▲地区よりの委嘱状授与
左より地区ガバナー指名委員 岡部(泰)会員、ガバナー補佐 境会員、井上会長

3月は識字率向上月間です!!

<4つのテスト> 言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

◆ 委員会報告 ◆

① IM実行委員会報告

総務委員長 山下健三

先日のIMミーティングには、多数ご参加いただきましてありがとうございました。

城南ロータリーからの参加者数は40名でした。

② 親睦・出席委員会報告

副委員長 山下健三

春の家族会を4月4日(土)に、56年ぶりに修復なりました世界遺産の宇治平等院を見学し、錦水亭でタケノコづくしの昼食をとり、NHKの朝ドラで話題の大山崎山荘美術館を訪問するコースで実施いたします。ご家族ともどもご参加をお待ちしております。

卓話

2月27日 <第4例会>

「生きる事 生かされる事」

内藤喬皓会員

戦後70年、日本は世界有数の長寿国になりました。



平均寿命
(生まれてから死ぬまで)
♂79.59歳 ♀86.44歳

健康寿命

(日常的に介護を必要としないで自宅にて生存期間)
♂72.3歳 ♀77.7歳 平均75歳 世界1位

私たちは誰でも、元気で生きがいのある長寿を過ごせたら良いと考えますが、中には寝たきりとなってしまう人たちもいます。医療技術の発達した現在、本人の意思によらず、それを表明することもままならず何年も生き続ける事ができます。命は誰のものでもなく、自分自身のもので、生き続ける事も終わりにする事も本人の希望に沿うものであって欲しいと思います。

日本の法律では積極的安楽死(例えば切腹の介錯を行う行為)は死の補助となり(自殺を手助けする行為)、刑法第202条 自殺関与及び同意殺人として罰せられます。

また、治療拒否権「死ぬ権利」も明快に否定されております。安楽死の是非は医学や哲学の「解」なきテーマであり、議論され続けておりますが、人には2000年以上もこの問題に向き合いなお苦悩しております。私も医師になり、1,000例以上の死亡診断書を書いてまいりました。私を含め、身近な問題として生き方、死に方について常日頃考えて尊厳死の宣言書の作成をお勧めいたします。

尊厳死の宣言書

リビングウィル (Living Will)

私は私の病気が不治であり、かつ、死が迫っている場合に備えて、私の家族、縁者ならびに私の医療に携わっている方々に次の要望いたします。なおこの宣言書は私の精神が健全な状態にある時に書いたものであります。従って、私の精神が健全な状態にある時に私自身が破棄するか、また撤回する旨の文書を作成しない限り有効であります。

1. 私の病気が、現在の医学では不治の状態であり、すでに死期が迫っていると診断された場合にはいたずら、死期を引き延ばすための延命処置は一切お断りいたします。
2. 但し、この場合、私の苦痛を和らげる処置は最大限に実施してください。そのためたとえば麻薬などの副作用で死ぬ時期が早まったとしても、一向に構いません。
3. 私が2週間以上に渡って、いわゆる植物人間状態に陥った時は一切の生命維持装置をとりやめてください。

以上私の宣言による要望を果たして下さった方々に深く感謝申し上げますとともに、その方々が私の要望に従って下さった厚意の一切の責任は私自身にあることを付記いたします。

年 月 日

氏名 (自署) 印

生年月日 年 月 日生

住所

にこにこ箱

2月27日 (第4例会)

- IM無事終えて、皆様の協力に感謝。
川上ガバナー補佐をお迎えして。
井上会員
- 井上ガバナー補佐ようこそ。そしてIM有難うございました。また境ガバナー補佐エレクトをよろしくご指導ください。
岡部(泰)会員
- 卓話の機会を有難うございます。
内藤会員
- 三宅さん! 大変エキサイティングな時間を有難うございました。
浅井会員
- IM欠席お詫び。
西村会員
- IM多数のご参加、有難うございました。
山下会員
- 浅井さん、三宅さん、大変、大変お世話になりました。
原田会員

2月分にこにこ合計 149,000円

今期にこにこ累計合計 1,870,000円

(編集担当 大原・宇津井)

会員増強にご協力を!!